

(様式第 10 号)

事前評価結果報告書

令和7年9月//日

衛生研究所長 殿

茨城県衛生研究所評価委員会

委員長 木村 博

(押印又は自署)

調査研究課題	茨城県における伴侶動物の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルス感染状況調査
--------	--

評価項目	評 価	意 見	備考
①必要性	5、5、5、5、 5、5、5 平均評価点 5.0	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者発生が東日本に拡大し、県でも重要な感染症であり、伴侶動物感染はヒト感染を起こす可能性が高く、重要課題である。	
②目的の適合性	5、5、5、5、 5、5、5 平均評価点 5.0	飼育者や獣医療従事者の感染の可能性を考えると、県による実態把握は重要である。	
③計画内容等の妥当性	5、4、5、5、 3、5、5 平均評価点 4.6	期間、計画内容、方法共に妥当と考える。	
④目標の達成及び活用可能性	5、4、5、5、 5、5、5 平均評価点 4.9	感染状況調査の目標は達成され则认为。検査した動物がSFTSウイルス陽性だった場合の対応については、生活衛生課及び疾病対策課の実施となり、広域的な周知による有効活用が期待できる。	
⑤総合評価	5、4、5、5、 5、5、5 平均評価点 4.9	伴侶動物における本研究は、ヒトに対する本感染症のリスク評価に必要不可欠と考える。マダニ媒介感染症の包括的、感染疫学的解析にも繋がる。また、伴侶動物に関連した正しい認識と予防情報を提供することにも寄与すると考える。	
⑥計画実施の評価 A：実施相当 B：計画を見直し 実施相当 C：実施不可相当	A：7名 B：0名 C：0名 最終評価 A B C	評価の理由や助言等 (評価「B」の場合は見直しを要する事項)	

評価点 1：不良 2：やや不良 3：普通 4：やや良好 5：良好